

SAMPLE

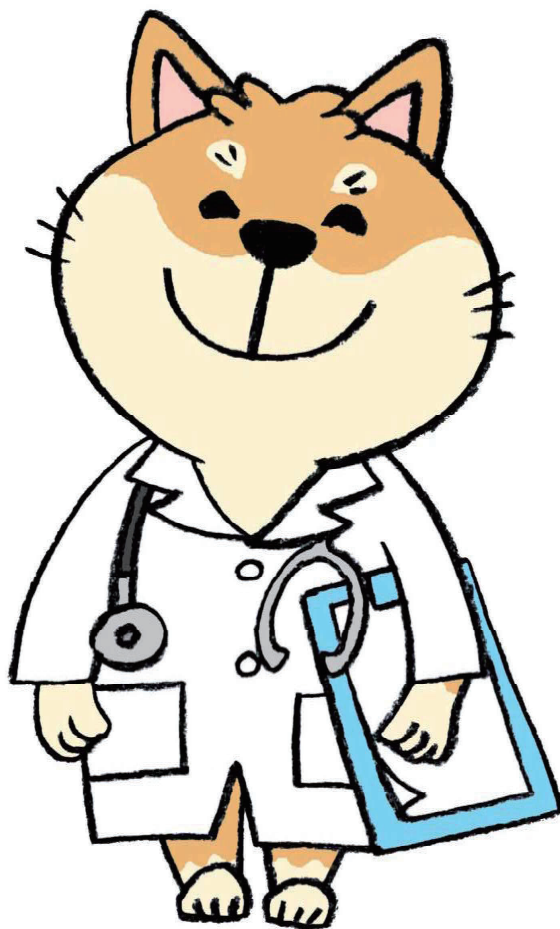
〒 980-0872
宮城県仙台市青葉区
星陵町2-1

子ども 10 歳 様

生年月日: 2015年10月1日
検査会場: 仙台子どもけんこうスクエア
検査日: 2026年6月1日
予約コース: 4 : 子ども四次調査 10歳
予約番号:

東北メディカル・メガバンク機構

結果のお知らせ



© Satoko.

結果概要のお知らせ

	項目名	単位	今回 2026年6月1日 4:子ども四次調査 10歳	前回 2023年1月6日 追三・センター詳細・10歳時	前々回 2023年1月5日 追三・センター新規・10歳時	前々々回 2021年9月22日 3:子ども三次調査10歳
身体測定	身長	cm	148.9	130.3	130.1	129.5
	体重	kg	47.9	33.3	32.5	30.2
骨密度	対同年齢	%	103.2	—	—	—
	骨梁面積率	%	33.5	—	—	—

「—」 検査項目ではなかった
「*」 測定できなかった

その他の検査結果のお返しには2～3ヶ月程度を見込んでいます。



© Satoko.

ID	身長 152.9cm	年齢 11.1	性別 女性	測定日時
----	---------------	------------	----------	------

体成分分析 Body Composition Analysis

体を構成している	体水分量 (L)	27.1 (22.5~27.5)
筋肉を作る	タンパク質量 (kg)	7.2 (6.0~7.4)
骨を丈夫にする	ミネラル量 (kg)	2.64 (2.08~2.54)
余ったエネルギーを保存する	体脂肪量 (kg)	6.3 (7.2~14.4)
体水分・タンパク質・ミネラル・体脂肪の合計 体重	(kg)	43.2 (36.5~49.5)

※衣量: -1.0 kg

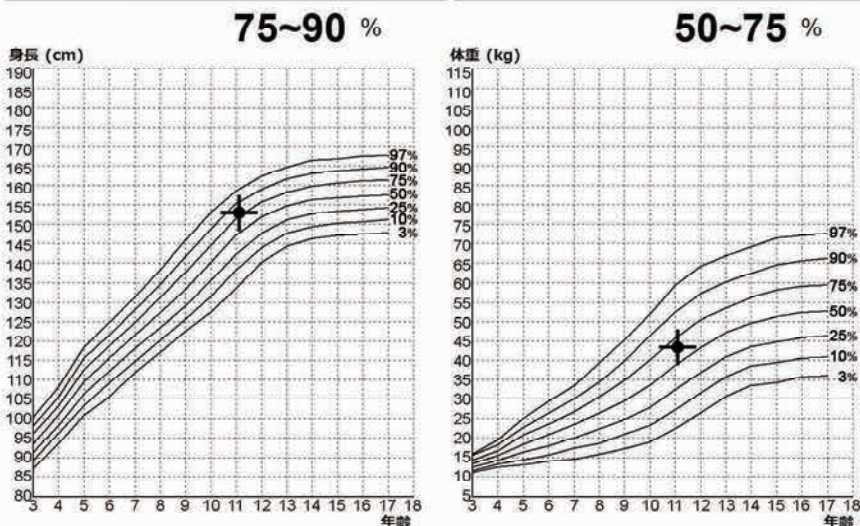
筋肉・脂肪 Soft Lean-Fat Analysis

	低	標準	高
体重 (kg)	55 70 85 100 115 130 145 160 175 190 205 %	43.2	
筋肉量 (kg)	70 80 90 100 110 120 130 140 150 160 170 %	34.8	
体脂肪量 (kg)	40 60 80 100 160 220 280 340 400 460 520 %	6.3	

肥満指標 Obesity Index Analysis

	低	標準	高
BMI (kg/m ²)	8.0 11.0 14.0 17.2 20.0 22.2 24.2 26.2 28.2 30.2 32.2	18.5	
体脂肪率 (%)	6.0 11.0 16.0 21.0 26.0 31.0 36.0 41.0 46.0 51.0 56.0	14.7	

成長曲線 Growth Graph



体成分履歴 Body Composition History

身長 (cm)	152.9
体重 (kg)	43.2
筋肉量 (kg)	34.8
体脂肪率 (%)	14.7
最近 全体	26.03.19 13:33

栄養評価 Nutrition Evaluation

タンパク質量	☒ 良好	☐ 不足
ミネラル量	☒ 良好	☐ 不足
体脂肪量	☐ 良好	☒ 不足 ☐ 過多

肥満評価 Obesity Evaluation

BMI	☒ 標準	☐ 低体重	☐ 過体重
			☐ ひどい過体重

体脂肪率	☒ 標準	☐ 軽度肥満	☐ 肥満
------	--	-------------------------------	-----------------------------

筋肉均衡 Lean Balance

上半身均衡	☒ 均衡	☐ やや不均衡	☐ 不均衡
下半身均衡	☒ 均衡	☐ やや不均衡	☐ 不均衡
上下均衡	☒ 均衡	☐ やや不均衡	☐ 不均衡

部位別筋肉量 Segmental Lean Analysis

右腕	1.67 kg
左腕	1.62 kg
体幹	15.5 kg
右脚	5.36 kg
左脚	5.41 kg

部位別水分量 Segmental Body Water Analysis

右腕	1.30 L (1.01~1.51)
左腕	1.26 L (1.01~1.51)
体幹	12.1 L (10.3~12.6)
右脚	4.19 L (3.60~4.40)
左脚	4.22 L (3.60~4.40)

研究項目 Research Parameters

細胞内水分量	16.6 L (13.9~17.0)
細胞外水分量	10.5 L (8.6~10.4)
骨格筋量	19.7 kg (16.4~20.0)
基礎代謝量	1166 kcal
骨ミネラル量	2.12 kg (1.71~2.09)
体細胞量	23.8 kg (20.0~24.4)

インピーダンス Impedance

	右腕	左腕	体幹	右脚	左脚
Z(Ω) 1 kHz	372.6	380.0	25.7	269.6	264.4
5 kHz	367.6	375.1	25.2	265.8	260.7
50 kHz	339.7	348.1	22.7	242.9	238.6
250 kHz	309.8	319.0	20.2	219.1	215.8
500 kHz	299.2	308.3	19.1	213.4	210.2
1000 kHz	292.6	300.9	18.0	210.7	208.3

体成分分析 Body Composition Analysis

人の体は大きく分けて体水分・タンパク質・ミネラル・体脂肪で構成されています。これらの成分の均衡がとれている時に、我々の体は健康な状態と言えます。

体水分量 Total Body Water

健康者の体重の約50～70%が水分であり、体水分は摂取した栄養素を体の細胞に届け、老廃物を外に排出できるよう運搬の役割をしています。

体水分は更に細胞を構成する細胞内水分と血液や間質に存在する細胞外水分に分かれ、その均衡が悪くなるとむくみが現れやすくなります。

タンパク質量 Protein

タンパク質は体水分と共に筋肉を構成する主な成分です。タンパク質が足りないことは細胞の栄養状態がよくないことを意味します。

ミネラル量 Minerals

ミネラルの約80%は骨にあり、人体を支持する役目をします。足りないと骨粗鬆症や骨折の危険性が高まります。

体脂肪量 Body Fat Mass

食事で摂取した栄養素は消化吸收の後、活動に必要なエネルギーとして使われますが、余分なエネルギーは脂肪細胞に蓄積され、肥満の原因になります。

筋肉・脂肪 Soft Lean-Fat Analysis

単に体重が多いことで肥満等を心配する必要はありません。それより大切な事は、体を構成している筋肉と体脂肪の均衡です。体重・筋肉量・体脂肪量の各棒グラフの先端を結んだ形によって、普通型・強靱型・肥満型等に分かれます。



筋肉量は主に体水分とタンパク質で構成されている除脂肪軟組織を意味し、骨格筋・内臓筋・心臓筋などを含む筋肉成分の総量です。骨格筋量は自分の意志で動かせる随意筋のみを示しており、研究項目から確認できます。

肥満指標 Obesity Index Analysis

BMI(kg/m²)

体格指数(Body Mass Index)といって、身長と体重のみで肥満可否を判定するため、見かけの肥満度を意味します。

$$\text{BMI} = \text{体重(kg)} \div \text{身長(m)}^2$$

体脂肪率(%)

体脂肪率は体重に対する体脂肪の割合を意味します。

$$\text{体脂肪率} = \text{体脂肪量(kg)} \div \text{体重(kg)} \times 100$$

部位別筋肉量 Segmental Lean Analysis

腕・体幹・脚の筋肉量を分析します。筋肉量は普段の運動量や活動量によって変動するため、運動効果をそのまま表す項目です。上の棒グラフは各部位の筋肉量の実測値で、身長から求めた標準体重に対する筋肉量の比較を表し、下の棒グラフは現在体重に対する筋肉量の比較を表します。

体水分均衡 ECW/TBW Analysis

体水分量に対する細胞外水分量の割合であり、体の水分均衡を意味します。健康な体は一定の水分均衡を維持しますが、疾患や栄養不良等で均衡が崩れると数値が高くなります。



体成分履歴 Body Composition History

測定時に同じIDで測定すると、そのIDの履歴データが折れ線グラフで表示されます。体重・筋肉量・体脂肪率・細胞外水分比が確認できます。

体重調節 Weight Control^{*1}

理想的な体成分均衡になるための筋肉調節量と脂肪調節量を意味します。適正体重は体成分状態を考慮するため、筋肉量が標準より多い人の場合、適正体重が標準を上回ることがあります。

部位別体脂肪量 Segmental Fat Analysis^{*1}

腕・体幹・脚の体脂肪量を分析します。棒グラフの長さは標準体重に対する体脂肪量の比較を意味します。

部位別水分量 Segmental Body Water Analysis^{*1}

腕・体幹・脚の体水分量を分析します。体水分は筋肉の主な構成成分であり、部位別水分量の評価は必ず部位別筋肉量に比例します。

位相角 Whole Body Phase Angle^{*1}

50kHzの交流電流が右半身の細胞膜を通過する際に計測される抵抗を角度で表しています。体細胞量や細胞の構造的完成度に比例します。

インピーダンス Impedance

部位別・周波数別にインピーダンス情報を表示します。インピーダンスは周波数を持つ交流電流が体水分に沿って流れる際に発生する抵抗であり、体成分を算出するための基データです。また、InBody測定が最後まで正常に行われた場合、インピーダンスは各部位と周波数に相応するパターンが計測されるので、測定エラーを判定できる指標になります。

^{*1} 結果用紙の右側に表示される情報は、管理者による機器の設定に応じて説明と異なる場合があります。



© Satoko.

骨の検査結果のお知らせ

対同年齢 (103.2) %

同性の同年齢と比較すると何パーセントになるかを示しています。

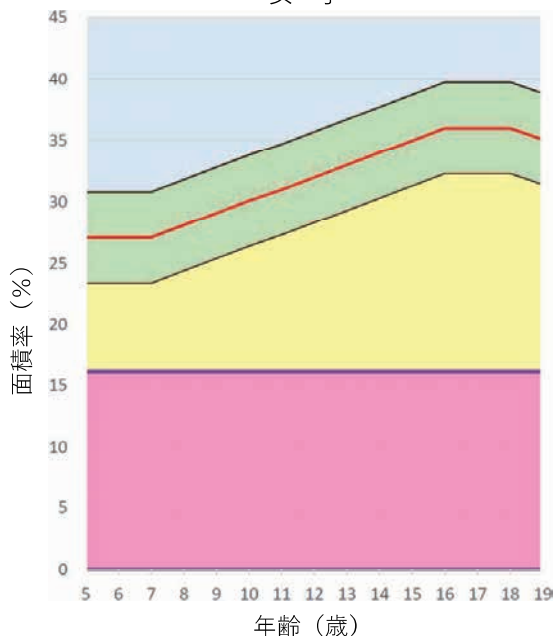
骨梁面積率 (33.5) %

踵骨の断面内での骨梁（骨質）部分の割合です。値が大きいほど良い事になります。

年齢別平均値と判定区分

骨梁面積率 (%)

女 子



年齢 (歳)

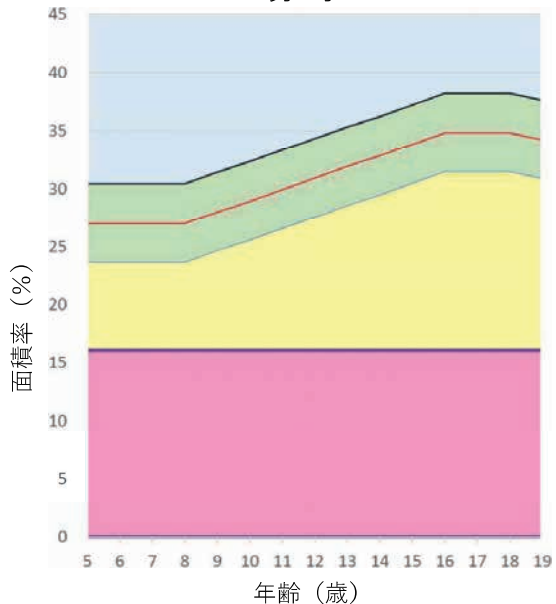
平均 + 1sd以上	判定1	平均 + 1sd以上
平均以上 ~ 平均 + 1sd未満	判定2 上	平均以上 ~ 平均 + 1sd未満
平均未満 ~ 平均 - 1sd以上	判定3 下	平均未満 ~ 平均 - 1sd以上
平均 - 1sd未満 ~ 3歳平均 - 3sd以上	判定4	平均 - 1sd未満 ~ 20歳平均 - 2.5sd以上
3歳平均 - 3sd未満	判定5	20歳平均 - 2.5sd未満

女 子

標準偏差 1SD=3.7 (%)

判定 年齢	1 (+1SD)	2 (下限AVG)	3 (-1SD)	4 (-3SD)	5
8	31.9以上	31.8~28.2	28.1~24.5	24.4~16.2	16.1以下
9	32.9以上	32.8~29.2	29.1~25.5	25.4~16.2	16.1以下
10	33.9以上	33.8~30.2	30.1~26.5	26.4~16.2	16.1以下
11	34.8以上	34.7~31.1	31.0~27.4	27.3~16.2	16.1以下
12	35.8以上	35.7~32.1	32.0~28.4	28.3~16.2	16.1以下
13	36.8以上	36.7~33.1	33.0~29.4	29.3~16.2	16.1以下
14	37.8以上	37.7~34.1	34.0~30.4	30.3~16.2	16.1以下
15	38.8以上	38.7~35.1	35.0~31.4	31.3~16.2	16.1以下
16	39.8以上	39.7~36.1	36.0~32.4	32.3~16.2	16.1以下
17	39.8以上	39.7~36.1	36.0~32.4	32.3~16.2	16.1以下
18	39.8以上	39.7~36.1	36.0~32.4	32.3~16.2	16.1以下
19	38.9以上	38.8~35.2	35.1~31.5	31.4~16.2	16.1以下

男 子



年齢 (歳)

平均 + 1sd以上	判定1	平均 + 1sd以上
平均以上 ~ 平均 + 1sd未満	判定2 上	平均以上 ~ 平均 + 1sd未満
平均未満 ~ 平均 - 1sd以上	判定3 下	平均未満 ~ 平均 - 1sd以上
平均 - 1sd未満 ~ 3歳平均 - 3.2sd以上	判定4	平均 - 1sd未満 ~ 20歳平均 - 3sd以上
3歳平均 - 3.2sd未満	判定5	20歳平均 - 3sd未満

男 子

標準偏差 1SD=3.4 (%)

判定 年齢	1 (+1SD)	2 (下限AVG)	3 (-1SD)	4 (-3SD)	5
8	30.5以上	30.4~27.1	27.0~23.7	23.6~16.2	16.1以下
9	31.5以上	31.4~28.1	28.0~24.7	24.6~16.2	16.1以下
10	32.4以上	32.3~29.0	28.9~25.6	25.5~16.2	16.1以下
11	33.4以上	33.3~30.0	29.9~26.6	26.5~16.2	16.1以下
12	34.4以上	34.3~31.0	30.9~27.6	27.5~16.2	16.1以下
13	35.4以上	35.3~32.0	31.9~28.6	28.5~16.2	16.1以下
14	36.3以上	36.2~32.9	32.8~29.5	29.4~16.2	16.1以下
15	37.3以上	37.2~33.9	33.8~30.5	30.4~16.2	16.1以下
16	38.3以上	38.2~34.9	34.8~31.5	31.4~16.2	16.1以下
17	38.3以上	38.2~34.9	34.8~31.5	31.4~16.2	16.1以下
18	38.3以上	38.2~34.9	34.8~31.5	31.4~16.2	16.1以下
19	37.7以上	37.6~34.3	34.2~30.9	30.8~16.2	16.1以下

あくまで統計データの平均値に基づくもので骨粗鬆症を診断するものではありません。
医師の総合的な診断に従ってください。

【ご相談窓口】



© Satoko.

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構
三世代コホート担当

TEL 022-718-5162 受付時間：平日 9時～17時
(土・日・祝日休み)

〒980-8573 仙台市青葉区星陵町2-1